

高知県感染症発生動向調査（週報）

2023年 第9週 （2月27日～3月5日）

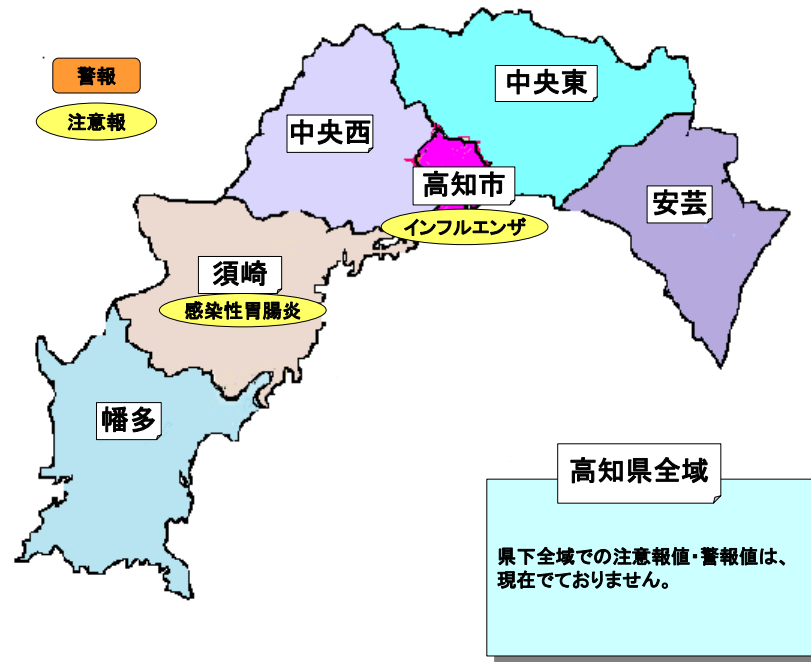
★県内での感染症発生状況

インフルエンザ及び小児科定点把握感染症（上位疾患5疾患）

↑：急増 ↗：増加 →：横ばい ↘：減少 ↓：急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
インフルエンザ	→	7.87	中央西で急減、須崎、幡多、安芸で減少していますが、高知市では注意報値を超えています。
感染性胃腸炎	→	6.26	安芸、中央西で急減していますが、須崎で急増、幡多で増加し、須崎では注意報値を超えています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗	0.33	須崎で急減していますが、高知市、幡多で急増、県全域で増加しています。
RSウイルス感染症	↗	0.22	中央西で急減、安芸で減少していますが、幡多で急増、県全域で増加しています。
突発性発疹	↘	0.15	安芸、須崎、幡多で急減、県全域で減少していますが、高知市、中央東で急増しています。

★地域別感染症発生状況



【感染症予防の基本】

手洗い：感染症予防の基本は手洗いです

- ・爪は短く切っていますか？
- ・指輪・時計ははずしていますか？

- 1) 石けんを泡立て、手のひらをよくこすります
- 2) 手の甲、指の間や指先、ツメの間まで丹念にこすります
- 3) 親指をねじり洗いし、手首も忘れずにあらいま
- 4) 石けんを洗い流し、清潔なタオルで拭き取って乾かします

汚れの残りやすいところも丁寧に：指先、指の間、爪の間、親指の周り、手首、手のしわ
タオルの共有は避けましょう



★県内で注目すべき感染症（注意点や予防方法）

○インフルエンザに気を付けて！

第9週のインフルエンザ定点医療機関における迅速診断では、インフルエンザA型334件の報告がありました。

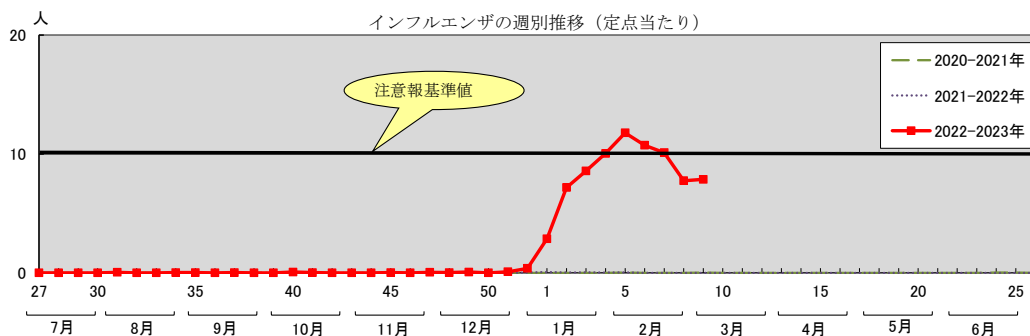
学校等における集団発生の報告では、学級閉鎖の報告が続いています。

学校等における集団発生		※感染症情報システム						
保健所		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計
休校	第9週	-	-	-	-	-	-	0
	累計	-	-	2	1	-	-	3
学年閉鎖	第9週	-	-	-	-	-	-	0
	累計	3	2	2	1	2	-	10
学級閉鎖	第9週	-	-	2	-	-	-	2
	累計	-	6	23	1	-	1	31

また、国内のインフルエンザウイルスの検出状況は、2022年第36週～2023年第8週ではAH3の検出割合が最も多く96.2%（755件）、次いでAH1pdm09が2.9%（23件）、B（ビクトリア系統）が0.9%（7件）の順でした。

インフルエンザは突然の発熱で始まり、半日以内に38℃を超える高熱となり、しばしば頭痛や筋肉痛を伴い、発熱は3日程度続きます。潜伏期は18～72時間程度です。

報告数は減少していますが注意報値を超えている地域もあるため、帰宅後の手洗いなどの感染予防を心がけましょう。症状がある方は、マスクを着用し、早めに医療機関を受診しましょう。また、適度な湿度の保持、十分な休養とバランスのとれた食事、人ごみを避けるなどの対策も有効です。感染力は強く、短期間に多くの人へ感染が拡大します。



<予防方法> 手洗いと咳エチケットを心がけましょう

インフルエンザの主な感染経路は咳やくしゃみの際に口から発生される小さな水滴（飛沫）による飛沫感染です。感染予防のため手洗いと咳エチケットを心がけてください。

●厚生労働省 「インフルエンザ総合ページ」

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuleenza/index.html

咳エチケット

- （1）普段から皆が咳エチケットを心がけるとともにくしゃみを他の人に向けて発しないこと。
- （2）咳やくしゃみが出るときはできるだけマスクをすること。
- （3）手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗うこと。



【学校感染症】

インフルエンザは学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、出席停止期間の基準が「発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日（幼児にあっては、3日）を経過するまで」と規定される学校感染症（第2種）です。ただし、この出席停止期間は病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるときは、この限りでないとして規定されています。

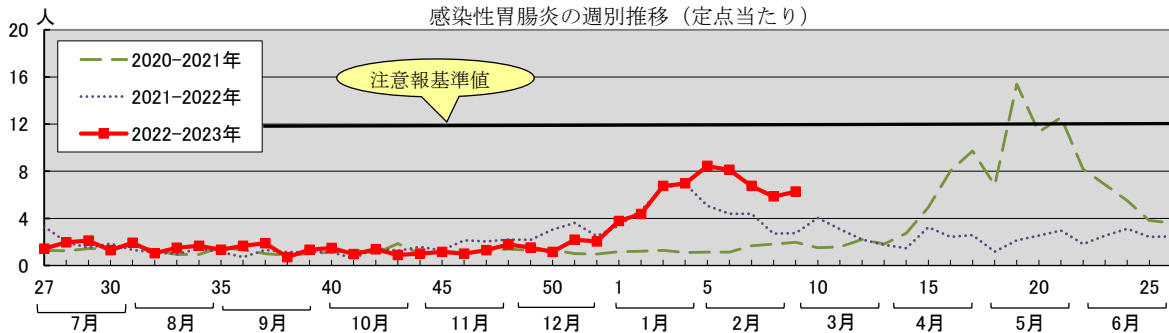
○感染性胃腸炎に気を付けて！

定点医療機関からのホット情報では、ノロウイルス・ロタウイルスによる胃腸炎の報告が継続しています。

この病気は、ウイルス又は細菌などの病原体により嘔吐、下痢を主症状とする感染症です。

潜伏期は、ノロウイルスは12～48時間程度、その他のウイルスは24～72時間程度、細菌は数時間～5日程度です。

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、年間を通じて発生しますが、特に冬場に流行します。発症してから通常1週間以内に回復しますが、症状消失後も1週間程度、長い時には1ヶ月程度便中にウイルスの排出が続くことがあります。保育園や幼稚園、学校や社会福祉施設など集団生活の場で大規模な集団感染となることもあり注意が必要です。



<予防方法>

- ・帰宅時や調理・食事前、トイレの後には石けんと流水でしっかりと手を洗いましょう。
- ・ウイルスによる感染性胃腸炎では便や嘔吐物を処理する時は気を付けましょう。

感染した人の便やおう吐物には直接触れないようにし、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、次亜塩素酸ナトリウムまたは、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤の使用方法を確認したうえで、キッチンペーパーなどを使用して処理しましょう（ノロウイルスに対してアルコール消毒は無効です）。処理後は石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

【学校感染症】

感染性胃腸炎（流行性嘔吐下痢症）は学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、条件によっては第3種の感染症の「その他の感染症」となります。出席停止期間の基準は「下痢・嘔吐症状が軽快し、全身状態が改善されれば登校可能」ただし、この出席停止期間は病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときはこの限りでないと規定されています。

SFTS（重症熱性血小板減少症候群）に注意！

この病気はSFTSウイルスを有するマダニに咬まれることにより感染し、野外での活動が多くなるとリスクが高まります（全てのマダニが病原体を持っているわけではありません）。また、ネコやイヌなどの動物がSFTSウイルスに感染、発症した場合、その血液や唾液などの体液に直接接触することで感染する可能性があります。

飼育している動物の健康状態の変化に注意し、動物が体調不良の際には、咬まれたり舐められたりしないように注意してください。必要な場合は動物病院で受診しましょう。また、ペットがマダニに咬まれないようダニ駆除剤を使用することも有効ですので獣医師に相談しましょう。

【マダニに咬まれないために】

- 長袖・長ズボン・長靴などで肌の露出を少なくしましょう。
- マダニに対する虫除け剤（有効成分：ディートあるいはイカリジン）を活用しましょう。
- 地面に直接座ったりしないよう、敷物を使用しましょう。
- 活動後は体や衣服をはたき、帰宅後にはすぐに入浴し、マダニに咬まれていないか確認しましょう。
- 飼っているネコやイヌが外で咬まれることもあります。ブラッシング等をこまめにしてマダニを持ち込まないようにしましょう。

発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～数週間程度）発熱等の症状が出た場合や、動物との接触後体に不調を感じたら、医療機関を受診してください。受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニ等に咬まれたこと）、動物との接触状況等を申し出てください。

- 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関する Q&A（厚生労働省）
http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/sfts_qa.html
- 高知県衛生環境研究所 ダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
5 類	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	2	90 歳代 女性	安 芸
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	2	90 歳代 女性	高知市

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	臨床症状	症状_その他症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
9	インフルエンザ	40℃,咳嗽	咽頭痛	10	女	高知市	Influenza virus A H3 NT
9	インフルエンザ	40℃,咳嗽	鼻汁	4	男	須崎	Influenza virus A H3 NT
9	インフルエンザ	38℃	咽頭痛、倦怠感	8	女	須崎	Influenza virus A H3 NT

前週以前

受付週	臨床診断名	臨床症状	症状_その他症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
7	手足口病	水疱	-	4	男	須崎	Human herpes virus 7

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報
安 芸	田野病院小児科	hMPV 感染症 2 例
中央東	高知大学医学部付属病院小児科	ノロウイルス胃腸炎 1 例（2 歳女）
	早明浦病院小児科	ノロウイルス胃腸炎 1 例（4 歳男）
	JA 高知病院小児科	マイコプラズマ 1 例 RS ウイルス 1 例
高知市	高知医療センター小児科	ノロウイルス 1 例（2 歳男）
	けら小児科・アレルギー科	ノロウイルス胃腸炎 6 例（1 歳、3 歳 3 人、4 歳 2 人） インフルエンザ 78 例（全て A 型） アデノウイルス咽頭炎 1 例（0 歳）
	福井小児科・内科・循環器科	インフルエンザ A 型 20 例 溶連菌感染症 6 例 インフルエンザ A 型と溶連菌感染症 2 例（8 歳女、10 歳女）
	細木病院小児科	ノロウイルス 1 例（2 歳男）
中央西	くぼたこどもクリニック	インフルエンザ 2 例（3 歳男：高知市、11 歳女：仁淀川町）
須 崎	もりはた小児科	感染性胃腸炎（ノロウイルス）17 例 インフルエンザ 5 例（全て A 型） COVID-19 3 例（2 歳 2 人、3 歳）
幡 多	こいけクリニック	ノロウイルス胃腸炎 4 例（10 か月男、1 歳女、3 歳男、4 歳男） 第 8 週：カンピロバクター腸炎 1 例（7 歳女）
	さたけ小児科	ノロウイルス 3 例（1 歳女 2 人、2 歳男） インフルエンザ A 型 1 例 RS ウイルス 2 例 COVID-19 4 例
	幡多けんみん病院小児科	ノロウイルス 3 例（1 歳女、2 歳男、4 歳女） ロタウイルス 1 例（6 か月女：ワクチン接種済） サルモネラ O7 1 例（8 歳男）

★注目すべき感染症

○無料の風しん抗体検査を実施しています

妊婦、特に妊娠初期の女性が風しんにかかると、生まれてくる赤ちゃんにも感染し「先天性風しん症候群」という病気にかかってしまうことがあります。風しんの予防には、ワクチンを接種し、風しんに対する免疫を獲得することが有効です。風しんに対する十分な免疫があるかどうかは抗体検査で確認することができます。赤ちゃんが生まれつきの病気にならないよう家族みんなで風しん抗体検査を受け、免疫がない場合は予防接種をうけることをご検討ください。

風しんは、今は成人に多い病気で、特に10代後半から50代前半の男性、20代から30代の女性が多く発病しています。

特に昭和54年4月2日から平成7年4月1日生まれの男女は予防接種の接種率が低く、昭和54年4月1日以前生まれの男性は子どもの頃に予防接種を受けるチャンスがありませんでした。このことから、風しんの追加対策として、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性には2023年3月31日までの間、無料の抗体検査及び予防接種（抗体検査で陰性の方を対象とする）が受けられるクーポン券が住民票のある市町村役場から発行されます。対象者の方は、まずは抗体検査の実施をお願いいたします。クーポン券の発行等についてはお住まいの市町村役場にお問い合わせください。

【無料の風しんの抗体検査について】

対象者・高知県内在住（住所を有する者）の妊娠を希望する女性

・妊娠を希望する女性または風しんの抗体価が低い妊婦の配偶者など（生活空間を同一にする頻度が高い方。婚姻の届けを出していないが、事実上婚姻関係と同様の事情にある方を含む）

検査受付：実施医療機関ごとに異なりますので、受診を希望する医療機関に事前にお問い合わせください（住所を証明する書類（運転免許証や健康保険被保険者証等）を持参ください）。

検査結果：検査後1～2週間後に郵送もしくは再来院にてお知らせいたします。

●厚生労働省「風しんの追加対策について」（風しん抗体検査・風しん第5期定期接種受託医療機関）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/index_00001.html

●無料の風しん抗体検査の実施及び抗体検査の委託を受けた医療機関（高知県健康対策課ホームページ）

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130401/2020051200219.html>

●風しんの追加的対策 Q&A（対象者向け） <https://www.mhlw.go.jp/content/000493833.pdf>

●風しん Q&A2018年1月30日改訂版(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/rubellaqa.html>

★高知県の新型コロナウイルス感染症情報

高知県庁ホームページ：<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/111301/info-COVID-19.html>

高知県の新型コロナウイルス感染症陽性者数

日付		陽性者	フォローアップセンター	死亡者
2/6	月	90	52	3
2/7	火	334	49	3
2/8	水	265	70	1
2/9	木	220	40	3
2/10	金	244	75	2
2/11	土	207	56	3
2/12	日	89	43	0
2/13	月	73	41	2
2/14	火	325	41	2
2/15	水	219	67	2
2/16	木	187	48	1
2/17	金	144	32	2
2/18	土	147	39	1
2/19	日	92	18	0
2/20	月	48	31	1
2/21	火	168	19	1
2/22	水	119	30	0
2/23	木	105	27	3
2/24	金	41	29	1
2/25	土	146	16	0
2/26	日	66	21	0
2/27	月	37	16	0
2/28	火	125	18	0
3/1	水	89	23	1
3/2	木	72	6	0
3/3	金	82	21	0
3/4	土	77	27	0
3/5	日	64	22	0
総計		168,102	17,332	582

総計はR2年2月28日以降の報告者数

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生環境研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869

この情報に記載のデータは2023年3月6日現在の情報により作成しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがありますが、その場合週報上にて訂正させていただきます。

病別年次報告数推移グラフ(インフルエンザ定点・小児科定点・眼科定点)

高知県感染症情報 疾病別年次報告数推移(2023年 第9週)

